

問題解決プロセスと内部ステップ

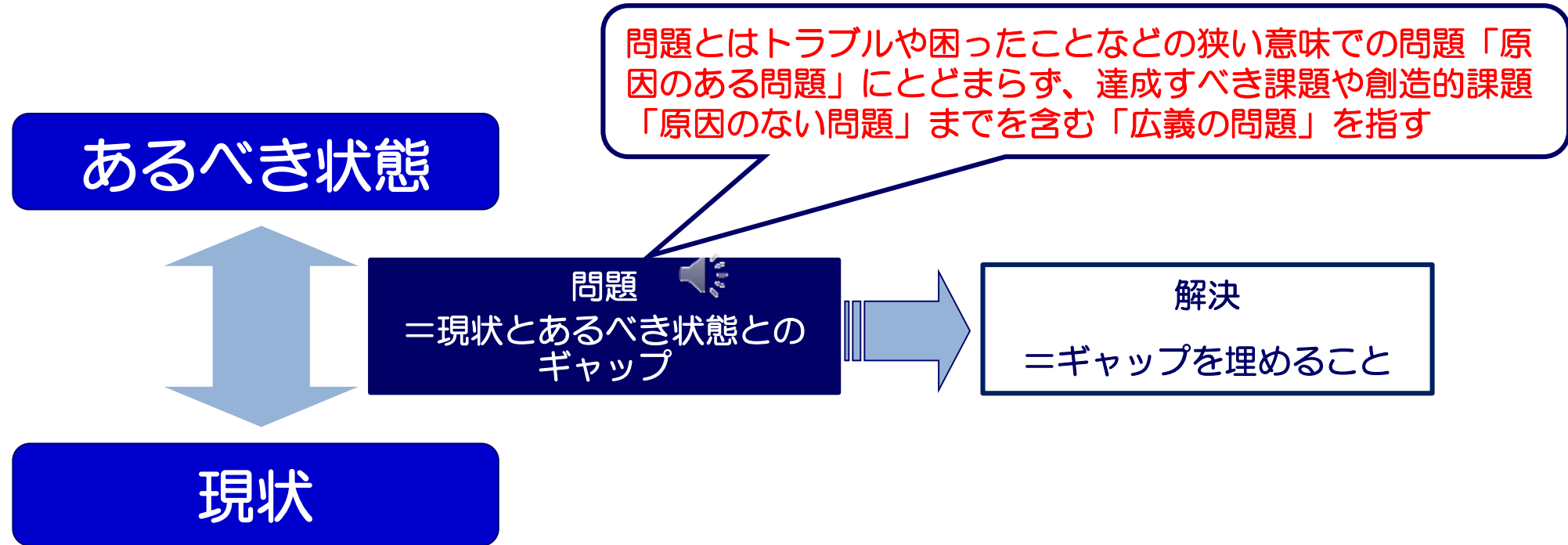
- 問題の定義
- 問題設定のポイント
- 問題解決プロセス全体の流れ
- 課題形成プロセス
 - ・ 情報収集における留意点
- 解決策立案プロセス
- 実行プロセス
- 問題解決全プロセスのイメージ図



問題解決プロセスについて、より深く学習するには、論理思考講座、「第2章 問題解決の主役はロジカルシンキングである (<http://www.ltkensyu.com/logicalthinking/1-2.html>) 」をご参照ください。

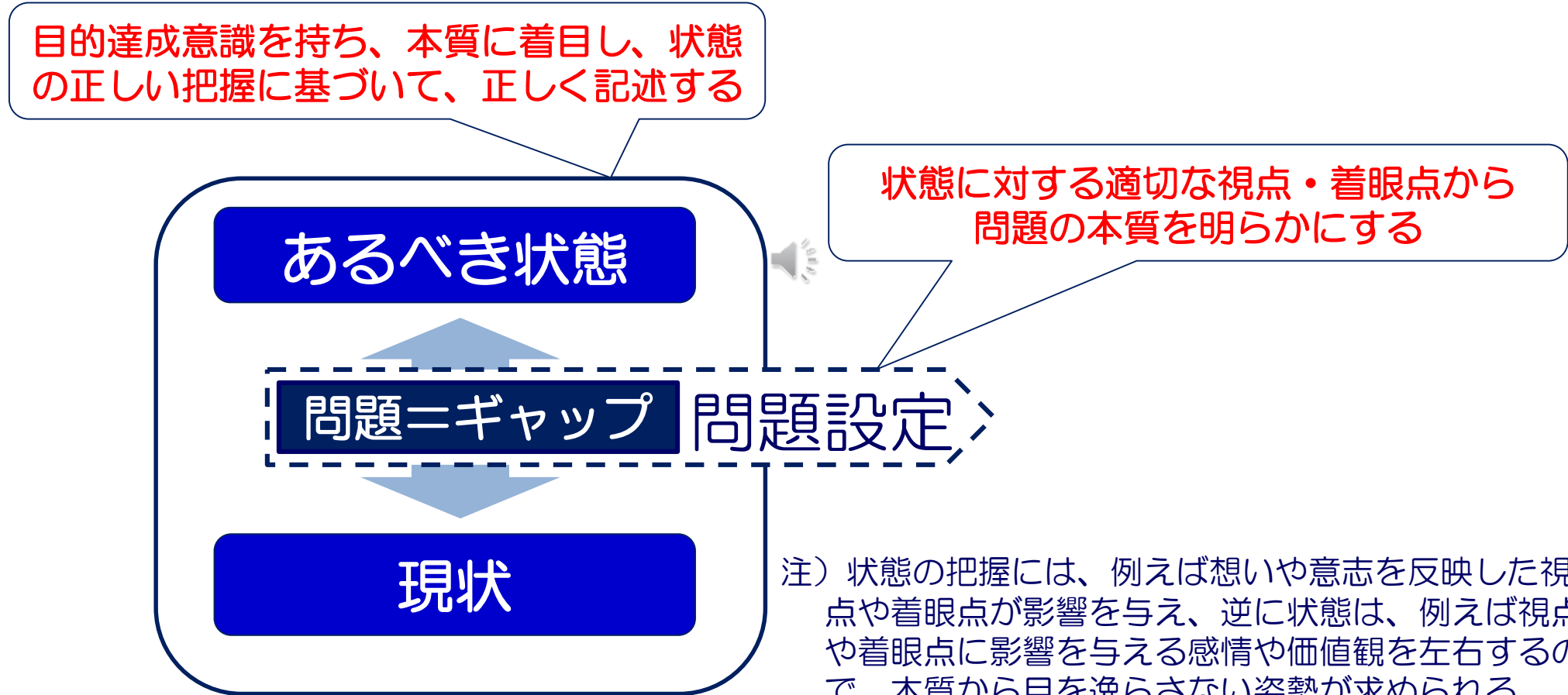
問題の定義

問題とは、現状とあるべき状態（または目標・ゴール）とのギャップである



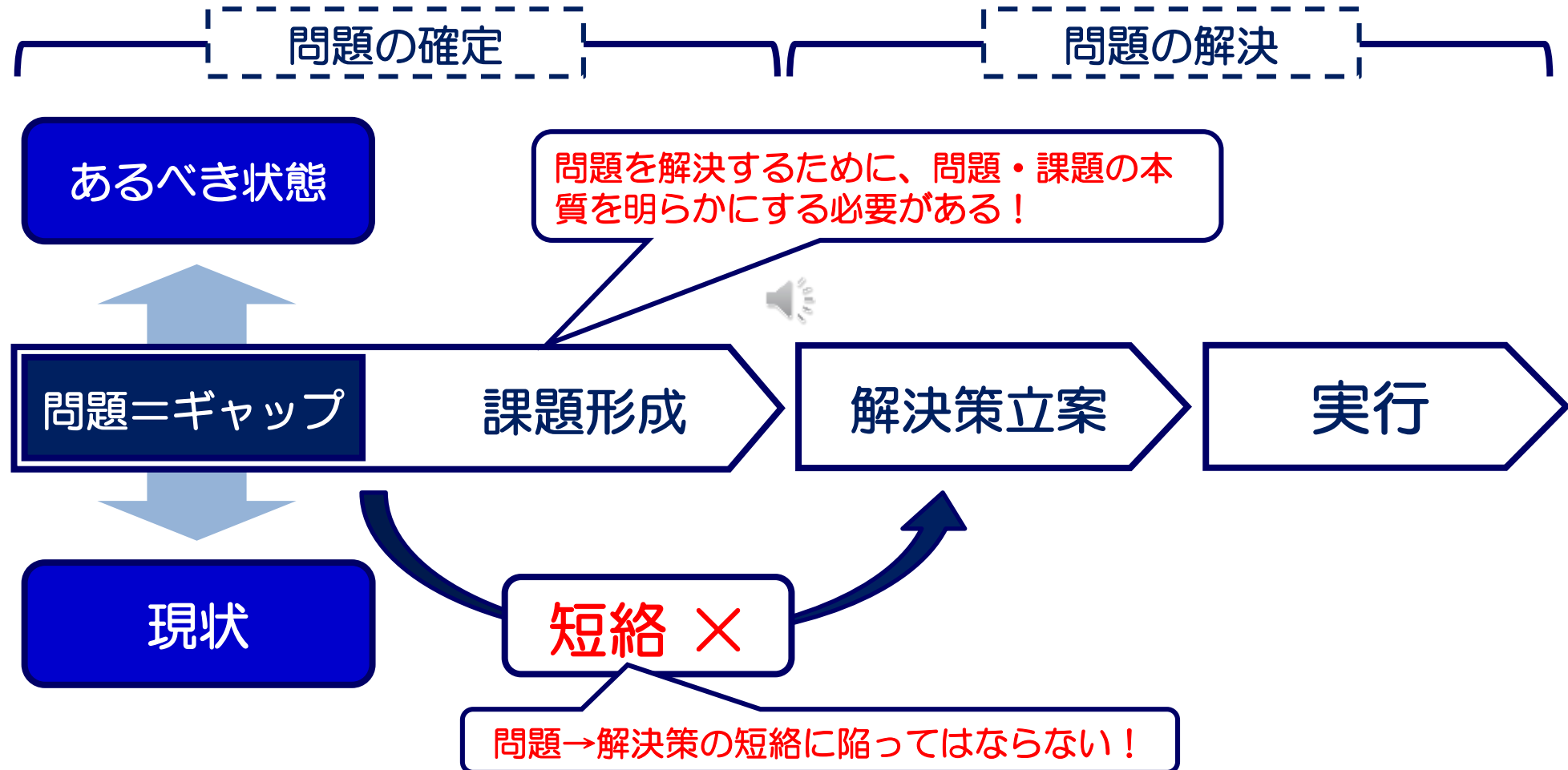
問題設定のポイント

問題の概略把握に続き、問題を解決しようとする目的意識を持ち、本質に着目し、状態の正しい把握に基づいて、正しく記述し、状態に対する適切な視点・着眼点から問題の本質を明らかにする



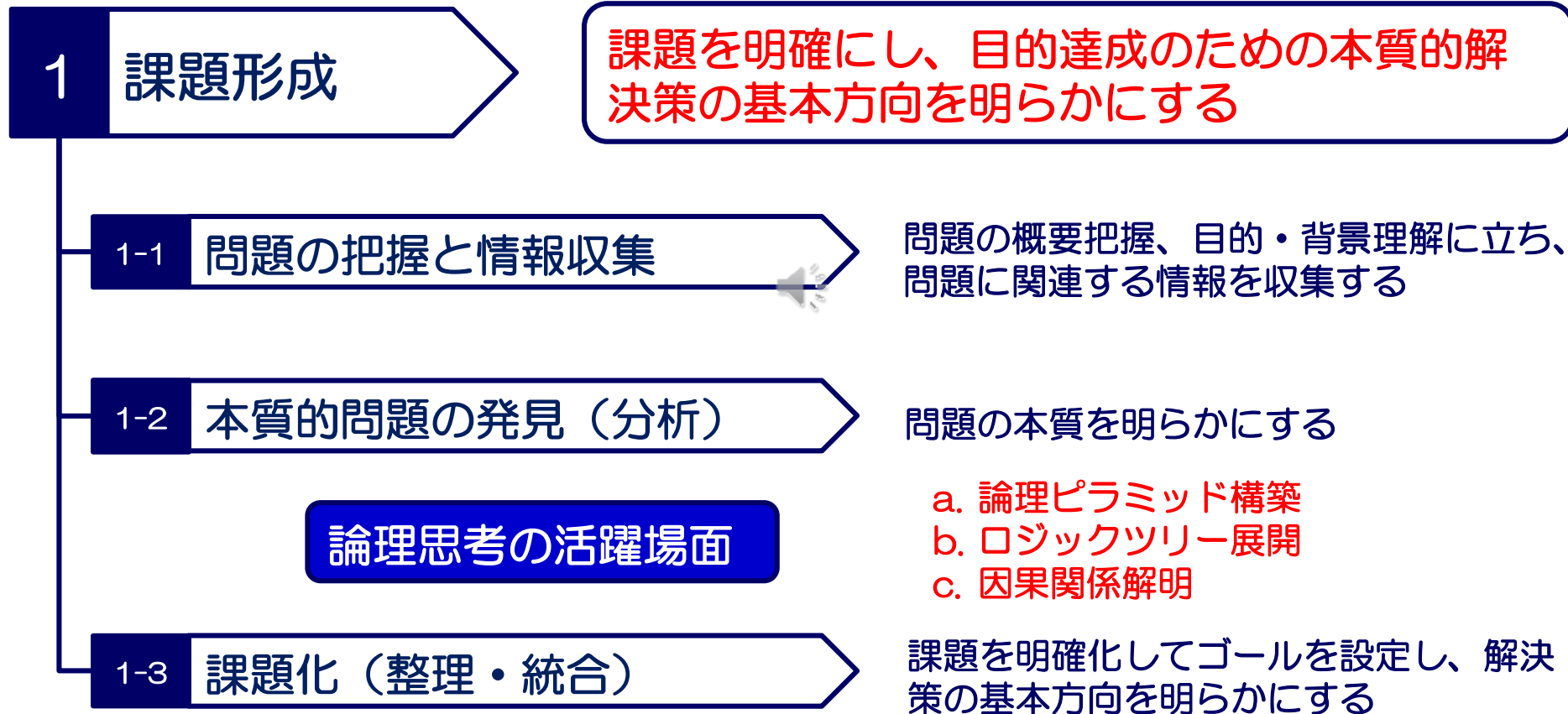
問題解決プロセス全体の流れ

問題解決プロセスとしては、①課題形成、②解決策立案、③実行の3つのプロセスで構成される



課題形成プロセス

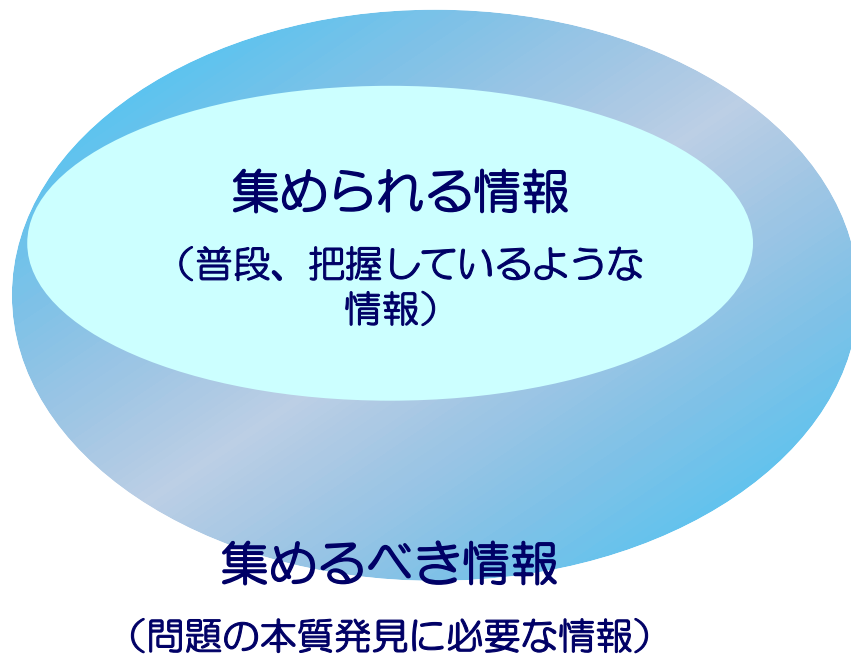
課題形成プロセスのポイントは、課題を明確にした段階で、同時に目的達成のための本質的解決策の基本方向が明らかにされているという点にある



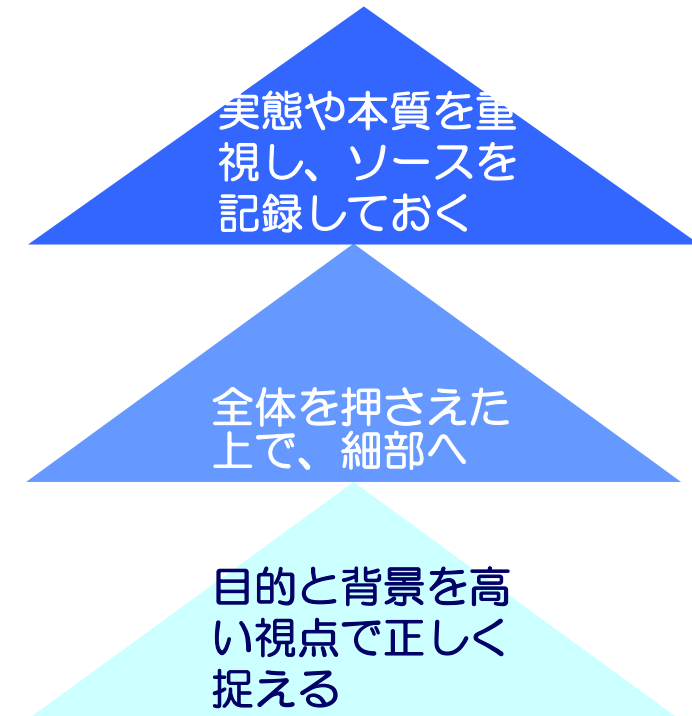
情報収集における留意点

情報収集においては目的と背景を高い視点で正しく捉え、全体から細部へ、集められる情報でなく、実態や本質を重視し、集めるべき必要な情報を広い視野で収集する

広い視野で問題解決に必要な情報を見極める

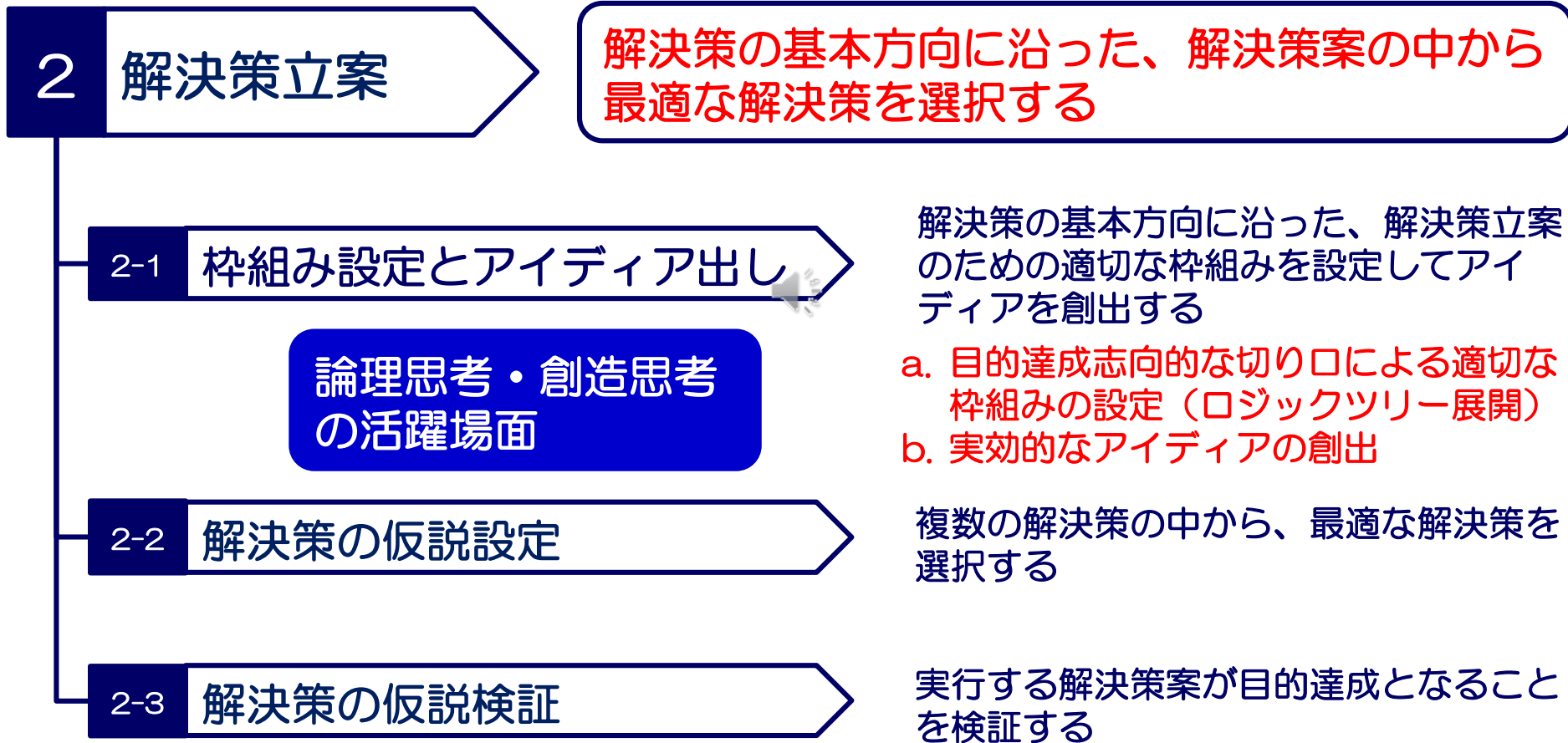


情報収集のシナリオを描き、収集する



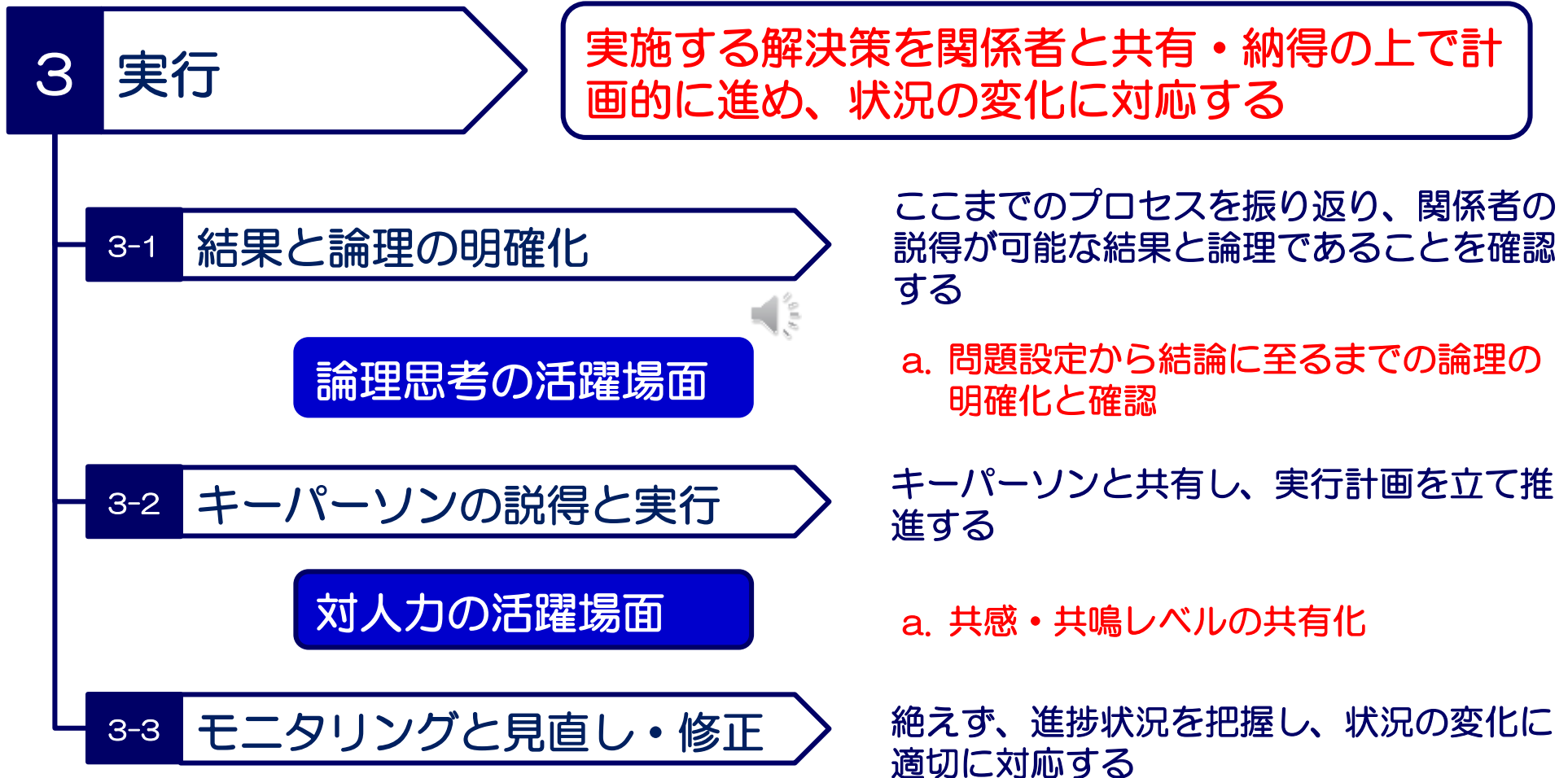
解決策立案プロセス

解決策立案プロセスのポイントは、本質的解決策の基本方向に沿った複数の代替案の中から、最適な解決策を選択するという点にある



実行プロセス

実行プロセスのポイントは、これから実施しようとする解決策を関係者と共有・納得の上で計画的に進め、状況の変化に柔軟に対応することである



問題解決の全プロセス・イメージ図

